

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	資産設計論	履修	必履修
担当講師	加藤静香、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	60		単位時間
授業計画	4月	A分野ライフプランニング、B分野リスク管理、C分野金融資産運営	
	5月	D分野タックス、E分野不動産、F分野相続 過去問・予想問演習	
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	生活するうえでの社会保険やお金にまつわる一般常識を学ぶとともにファイナンシャルプランニング技能士3級の資格の取得を目指す。		
授業目標	ファイナンシャル・プランニング技能士3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	地域研究 I	履修	必履修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	80		単位時間
授業計画	4月	観光スポットとされる場所をめぐりつつ、地理的な課題に気づく	
	5月	城下町としての街づくりの歴史を踏まえ 課題に気づく	
	6月	特産品を「ならでは」に生かす工夫についての視察と考察	
	7月	商店街との交渉 既存商品の仕入れ、販売実践、アンケート調査	
	8月	実践を繰り返しつつ、課題についての検討	
	9月	課題解決に向けての実施、検討	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	地域における課題を発見し、その解決策をさぐるのを目的とする。前期は学校のある盛岡(岩手県の県庁所在地であり、玄関口である)の城下町としての街づくりの歴史、地理的条件、特産品について視察や見学を実施し、地域ならではのマーチャンダイジング計画に挑む		
授業目標	課題と考えた内容につき、その考察と解決に向けての目標設定の上、地元商店街等の協力を得ながら課題解決のために実行する		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	実践英会話Ⅲ	履修	必履修
担当講師	松田一子		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	40		単位時間
授業計画	4月	簡単な挨拶、自己紹介・現在完了形	
	5月	助動詞・受身、おもてなし会話①	
	6月	不定詞、分詞、仮定法、おもてなし会話②	
	7月	関係代名詞、振り返り、おもてなし会話③	
	8月	関係副詞、構文、おもてなし会話④	
	9月	総復習、おもてなし会話⑤	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	おもてなし会話のフレーズを学習するとともに、教室では生徒同士、教師対生徒でその会話フレーズを基に会話練習を行う。また、毎回英文法についても学習を行う。		
授業目標	臆することなく一言でも、二言でも英語で自分の思いや意見を発信すること。初級英文法をマスターする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	宅地建物取引士 I	履修	選択必修
担当講師	昆浩司		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (不動産業経営・資格取得者)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	200		単位時間
授業計画	4月	宅建業法	
	5月	権利関係①	
	6月	権利関係②、法令上の制限	
	7月	税・その他	
	8月	総復習	
	9月	過去問演習①	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	セレクト講座として「宅地建物取引士」をセレクトした学生を対象に「宅地建物取引士」の資格取得をめざし不動産に関する様々な事項を学習する。		
授業目標	宅地建物取引士の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	サービス接客2級+準1級 +販売士3級 I	履修	選択必修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	200		単位時間
授業計画	4月	ストアオペレーション 人的販売の基本的考え方	
	5月	マーケティング 顧客管理と販売促進	
	6月	流通と小売業 マーチャンダイジング 商品知識	
	7月	販売計画 検定試験受験準備	
	8月	サービス業従業知識 流通に関する時事用語	
	9月	人間関係対処 提示・説明	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	リテールマーケティング(販売士)検定の合格をめざしつつ、サービス接客検定の内容である対人技能、サービス知識を学び、サービススタッフとしての技能を磨く。		
授業目標	リテールマーケティング検定の合格 サービス接客検定に向けての基本知識の習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	日商簿記1級 I	履修	選択必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	無( )・有( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	200		単位時間
授業計画	4月	日商簿記2級の復習、資産会計	
	5月	負債会計、純資産会計	
	6月	連結会計、	
	7月	リース、外貨建会計、費目別計算	
	8月	総合原価計算	
	9月	標準原価計算、直接原価計算	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	セレクト講座として「日商簿記1級」をセレクトした学生を対象に「日商簿記1級」の資格取得をめざし会計に関する様々な事項を学習する。		
授業目標	日商簿記1級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期
科目名称	コンピュータテラシーⅢ	履修	必履修
担当講師	佐々木真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	40		単位時間
授業計画	4月	Exce3級1の基礎と入力練習の復習	
	5月	表計算と関数①	
	6月	表計算と関数②	
	7月	グラフ・データベース①	
	8月	グラフ・データベース②	
	9月	Exce2級の検定問題演習	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要		
授業目標	サーティファイのExcel検定2級の合格及びExcelの基礎学習		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期	
科目名称	秘書技能Ⅲ	履修	必履修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	84		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			技能 文書作成、取り扱い、ファイリング
	7月			技能 スケジュール管理 会議計画 会議の実際
	8月			マナー 人間関係 話しかた 接遇
	9月			マナー 交際業務 仕事上の慶弔業務、贈答のマナー
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	前期で仕事の実務編を学び、就職活動における文書や面接試験の実際にリンクさせつつ知識を深める			
授業目標	秘書検定2級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			



## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	後期	
科目名称	実践英会話Ⅳ	履修	必修	
担当講師	松田 一子			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			英検準2級対策①、文法、ライティング
	11月			英検準2級対策②、スピーキング
	12月			英検準2級対策③、長文読解
	1月			総復習、おもてなし会話フレーズ特集
	2月			
	3月			
	授業概要			実践英会話Ⅲを受けて、英会話のレベルアップを図るとともに、英語検定準2級の受験対策も行う。
授業目標	初級日常英会話ができるとともに英語検定準2級を目指す。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	後期
科目名称	宅地建物取引士Ⅱ	履修	選択必修
担当講師	昆浩司		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有（不動産業経営・資格取得者）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	70		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	過去問対策・予想問対策	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	セレクト講座Ⅰで学んだ宅地建物取引士の知識を基に、宅地建物取引士に合格するため過去問題・予想問題対策を行う。	
授業目標	宅地建物取引士の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	後期	
科目名称	サービス接客2級+準1級 +販売士3級Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	70		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			サービス接客実務技能 アナウンス原稿 掲示文作成 問題処理
	11月			サービス接客検定受験
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	授業概要			前期で備えたサービススタッフとしての基礎知識をもとに、サービス接客検定の筆記試験対策を行う。対面販売、セルフサービス販売のともに、より実務を想定した内容で授業を行う
授業目標	サービス接客検定2級合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	後期	
科目名称	日商簿記1級Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	工藤正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	70		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			意思決定会計
	11月			過去問対策・予想問対策
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	授業概要			セレクト講座Ⅰで学んだ日商簿記1級の知識を基に、日商簿記1級に合格するため過去問題・予想問題対策を行う。
授業目標	日商簿記1級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期	
科目名称	地域研究Ⅱ	履修	必履修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			ポジショニング、ターゲット設定の上、課題解決に向かう
	11月			地元イベントにも参加、検討と考察を行う
	12月			反省を含み、リーフレットの作成や提案、発表資料の作成
	1月			リーフレットの作成、提案、発表資料の作成とプレゼン練習
	2月			発表
	3月			
	授業概要			地域における課題を発見し、その解決策をさぐるのを目的とする。後期は実際に計画したマーチャンダイジングについての実行と検討、提案を行う
授業目標	課題と考えた内容につき、その考察と解決に向けての目標設定の上、地元商店街等の協力を得ながら課題解決のために実行する			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	後期	
科目名称	秘書技能IV	履修	必修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	42		単位時間	
授業計画	一	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			誠実・明朗・素直な人柄 資質と素質の違い
	11月			秘書的業務の基本知識
	12月			秘書的資質 判断・表現・行動力
	1月			職務知識 上司の職務機能、秘書的役割を担う職務の機能
	2月			これまでの復習と検定試験取得に向け問題演習
	3月			
	授業概要			基本的ビジネスマナーを学び、秘書技能2級の知識を習得する。マナーとは決まりではなく、お互いの気持ちや心を尊重することがマナーの基本であることを理解させる。また検定資格の取得を目指す
授業目標	社会人としての基本。基礎的ビジネスマナーの習得。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	後期	
科目名称	コンピュータリテラシーⅣ	履修	必履修	
担当講師	佐々木真弓			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			グラフ、データベース、その他②
	11月			Excel2級検定問題の練習①
	12月			Excel2級検定問題の練習②
	1月			Excel検定2級問題の練習③
	2月			
	3月			
	授業概要			表計算ソフトの基本を身に付け、表の計算から関数、グラフ、データベースの処理ができるようにする。
授業目標	2月のサーティファイのExcel検定2級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期	
科目名称	硬筆書写技能	履修	選択必修	
担当講師	工藤正剛			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	42		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			ひらがな・漢字の書き方
	12月			早書き、漢字と平仮名を大きく書く、縦書き、横書き、簡単な掲示
	1月			教育漢字と仮名の筆順、漢字の書き取り
	2月			演習及び答練
	3月			
	授業概要			卒業前に、今一度自身の文字を見直す。正しく美しく書くことを第一に、実用的な技術に関しては硬筆書写技能検定4級の内容に沿って指導する。
授業目標	文字を正しく美しく書く。硬筆書写技能検定4級レベルの実力の養成。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			



## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期	
科目名称	カラーコーディネイト	履修	選択必履修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	42		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			色覚異常・高齢者の見え方、色の見えるしくみ
	12月			ユニバーサルデザインのための基礎知識
	1月			混同色確認カードづくりと実習、駅や公共な場所での表示例チェック
	2月			演習及び答練
	3月			
	授業概要			商品を選ぶのも、危険を察知するのも「色」なのだが、色を見分ける特性には個人差がある。高齢者や色弱の方にもわかりやすい世の中にするために、チラシやプレゼン資料の作成時に役立つ知識を学習する
授業目標	論理的な色彩設計「ユニバーサル・デザイン」の基礎を理解する			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期	
科目名称	リテールマーケティング	履修	選択必履修	
担当講師	東海林千秋			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	42		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			流通機構とその役割 商品計画、価格設定、利益追求
	12月			マーケティングの知識 顧客管理、商圏の設定、売り場づくり
	1月			小売業に関する法令知識
	2月			演習及び答練
	3月			
	授業概要			リテールマーケティング検定の学習内容から、検定対策用ではなく実務に関連する内容をピックアップし、消費者の立場からもマーケティングに関する用語を理解していく
授業目標	流通の仕組みを理解する			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 事務・経理マネジメントコース	開講時期	前期	
科目名称	法律基礎	履修	選択必履修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	42		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			法律の基礎①
	12月			法律の基礎②・裁判員制度①
	1月			裁判員制度②
	2月			演習及び答練
	3月			
	授業概要			法律の基礎を学ぶとともに、裁判員制度についてその仕組み・目的等を学び自分が裁判員になった場合を想定する。
授業目標	法律の解釈を学ぶとともに裁判員制度を理解する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			